

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】令和3年10月14日(2021.10.14)

【公開番号】特開2020-150986(P2020-150986A)
 【公開日】令和2年9月24日(2020.9.24)
 【年通号数】公開・登録公報2020-039
 【出願番号】特願2019-49307(P2019-49307)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 3 3 Z

【手続補正書】

【提出日】令和3年9月3日(2021.9.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
前記有利状態に制御される確率に関する設定値を設定可能な設定手段と、
前記設定手段により設定された設定値を確認可能な設定確認状態に制御可能な設定確認
制御手段と、
遊技に関する処理を実行可能な割込処理を実行する割込処理実行手段と、
遊技者にとって有利な第1状態と、遊技者にとって不利な第2状態とに変化する可変手
段と、
前記有利状態中に前記可変手段を前記第2状態から前記第1状態に変化させる所定遊技
を複数回実行可能な所定遊技実行手段と、
前記可変手段を前記第1状態に変化させる変化期間を計時する可変計時手段と、
前記所定遊技が終了してから次の前記所定遊技が開始するまでの所定期間を計時する所
定期間計時手段と、
前記有利状態に制御されることを報知する有利状態報知演出を実行可能な有利状態報知
演出実行手段と、
前記有利状態報知演出が実行される有利状態報知期間を計時する有利状態報知計時手段
と、
特定信号を遊技機の外部に出力可能な外部出力手段と、を備え、
前記設定確認制御手段は、遊技機への電力供給が開始したときであって前記割込処理が
実行される前に前記設定確認状態に制御可能であり、
前記設定確認状態が終了した後に前記割込処理が実行され、該割込処理が実行された後
、遊技機への電力供給が停止されるまで前記設定確認状態に制御されず、
前記変化期間が計時されているときに遊技機への電力供給が停止され、その後に遊技機
への電力供給が再開して前記設定確認状態に制御された場合に、該設定確認状態が終了す
るまで前記変化期間の計時が中断され、該設定確認状態が終了したときに前記変化期間の
計時が再開され、
前記所定期間が計時されているときに遊技機への電力供給が停止され、その後に遊技機
への電力供給が再開して前記設定確認状態に制御された場合に、該設定確認状態が終了す

るまで前記所定期間の計時が中断され、該設定確認状態が終了したときに前記所定期間の計時が再開され、

前記有利状態報知期間が計時されているときに遊技機への電力供給が停止され、その後
に遊技機への電力供給が再開して前記設定確認状態に制御された場合に、該設定確認状態
が終了するまで前記有利状態報知期間の計時が中断され、該設定確認状態が終了したとき
に前記有利状態報知期間の計時が再開され、

前記外部出力手段は、前記設定確認状態に制御されたときに前記特定信号を出力可能で
ある、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

従来、設定変更操作にもとづいて複数段階の設定値のうちのいずれかに設定可能であり
、設定された設定値にもとづいて遊技者にとって有利な有利状態の制御を実行可能なパチ
ンコ遊技機があった。このようなパチンコ遊技機において、主基板側から設定変更状態中
や設定確認状態中であることを示すコマンドが演出制御基板側に送信されることに基づい
て、設定変更状態中や設定確認状態中であることが報知されていた（例えば、特許文献 1
参照）。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

【特許文献 1】特開 2010 - 200902 号公報

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

しかしながら、特許文献 1 にあっては、遊技の進行中に設定確認作業を行う際のことが
十分に考慮されておらず、改善の余地があった。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、このような問題点に着目してなされたもので、設定確認状態中においてイレ
ギュラーなコマンドの受信があった場合の制御が適切に実行される遊技機を提供すること
を目的とする。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 6 】

遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
 前記有利状態に制御される確率に関する設定値を設定可能な設定手段と、
 前記設定手段により設定された設定値を確認可能な設定確認状態に制御可能な設定確認制御手段と、
 遊技に関する処理を実行可能な割込処理を実行する割込処理実行手段と、
 遊技者にとって有利な第 1 状態と、遊技者にとって不利な第 2 状態とに変化する可変手段と、
 前記有利状態中に前記可変手段を前記第 2 状態から前記第 1 状態に変化させる所定遊技を複数回実行可能な所定遊技実行手段と、
 前記可変手段を前記第 1 状態に変化させる変化期間を計時する可変計時手段と、
 前記所定遊技が終了してから次の前記所定遊技が開始するまでの所定期間を計時する所定期間計時手段と、
 前記有利状態に制御されることを報知する有利状態報知演出を実行可能な有利状態報知演出実行手段と、
 前記有利状態報知演出が実行される有利状態報知期間を計時する有利状態報知計時手段と、
 特定信号を遊技機の外部に出力可能な外部出力手段と、を備え、
 前記設定確認制御手段は、遊技機への電力供給が開始したときであって前記割込処理が実行される前に前記設定確認状態に制御可能であり、
 前記設定確認状態が終了した後に前記割込処理が実行され、該割込処理が実行された後、遊技機への電力供給が停止されるまで前記設定確認状態に制御されず、
 前記変化期間が計時されているときに遊技機への電力供給が停止され、その後に遊技機への電力供給が再開して前記設定確認状態に制御された場合に、該設定確認状態が終了するまで前記変化期間の計時が中断され、該設定確認状態が終了したときに前記変化期間の計時が再開され、
 前記所定期間が計時されているときに遊技機への電力供給が停止され、その後に遊技機への電力供給が再開して前記設定確認状態に制御された場合に、該設定確認状態が終了するまで前記所定期間の計時が中断され、該設定確認状態が終了したときに前記所定期間の計時が再開され、
 前記有利状態報知期間が計時されているときに遊技機への電力供給が停止され、その後に遊技機への電力供給が再開して前記設定確認状態に制御された場合に、該設定確認状態が終了するまで前記有利状態報知期間の計時が中断され、該設定確認状態が終了したときに前記有利状態報知期間の計時が再開され、
 前記外部出力手段は、前記設定確認状態に制御されたときに前記特定信号を出力可能である、
 ことを特徴とする。この特徴によれば好適に設定確認作業を進めることが出来る。

手段 C 1 の遊技機は、
 有利度が異なる複数の設定値（大当り判定用乱数の範囲が異なる設定値 1 ～ 6）のうちのいずれかの設定値に設定可能な遊技機（パチンコ遊技機 1）であって、
 可変表示（変動表示）を実行可能な可変表示手段（遊技制御用マイクロコンピュータ 100、演出制御用 CPU 120）と、
 遊技状態を制御する遊技状態制御手段（CPU 103）と、
 設定の示唆に関する特別演出（第 1 設定示唆演出、第 2 設定示唆演出）を実行可能な演出制御手段（演出制御用 CPU 120）と、を備え、
 前記遊技状態制御手段（CPU 103）は、
 遊技者にとって有利な有利状態（大当り遊技状態）と、前記有利状態とは異なる遊技状態であって遊技者にとって有利な特別状態（高確 / 高ベース状態（確変状態）、高確 / 第 2 K T 状態（小当り R U S H 状態））と、に制御可能であり、
 可変表示パターン（変動パターン）の選択割合が設定値によらず共通であり（図 1 1 -

6 に示すように、変動パターン判定テーブルの判定値は設定値によらず共通であり）、

前記特別状態（高確／高ベース状態（確変状態））には、第１期間（遊技状態が高確／高ベース状態（確変状態）に移行してから、所定回数（５０回又は１００回）の特図ゲームが実行されるまで、或いは該所定回数の特図ゲームが実行される前に大当り遊技状態となるまでの期間）と、該第１期間の後の第２期間（遊技状態が高確／高ベース状態に移行してから、大当り遊技状態となることなく所定回数（５０回又は１００回）の特図ゲームが実行された後の期間（５１回以降又は１０１回以降））とがあり、

前記第１期間と前記第２期間とは、特定の可変表示パターンの選択割合が異なり（変動表示結果が「はずれ」となるときに、図１１－６（Ａ１）及び（Ｃ１）に示すように、第１期間におけるスーパーリーチをともなう変動パターン（「スーパーリーチはずれ」）の選択割合は、第２期間におけるスーパーリーチをともなう変動パターン（「スーパーリーチはずれ」）の選択割合よりも高くなっている）、

前記第１期間と前記第２期間とは、前記特別演出の実行割合が異なる（第１期間では、変動表示毎に第１設定示唆演出の実行有無を決定しているので、変動表示毎の第１設定示唆演出の実行割合は１０％である。一方で、第２期間では、第２期間の最終変動においてのみ第１設定示唆演出の実行有無を決定しているので、第２期間の最終変動を除く変動表示毎の第１設定示唆演出の実行割合は０％であり、第２期間の最終変動の第１設定示唆演出の実行割合は１０％である）

ことを特徴とする遊技機。

このような構成によれば、第１期間と第２期間における遊技の興趣を向上させることができる。